

## 道路事業の再評価概要書

( ) は前回計画時

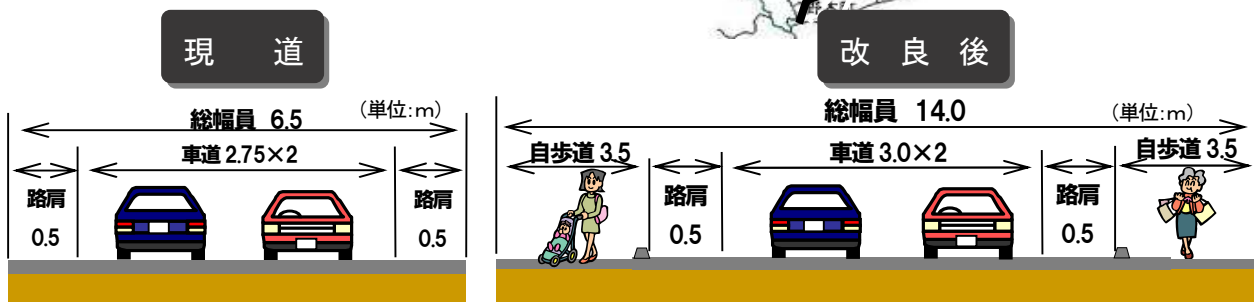
道 路 事 業 の 再 評 価 概 要 書		番 号	1
		事業主体	栃 木 県
事業名	快適で安全な道づくり事業	事業所管課	県土整備部 道路整備課
路線・河川名	一般県道 <small>やすづかすずめのみやせん</small> 安塚雀宮線	事業箇所名	<small>うつのみやし</small> 宇都宮市 <small>すずめのみや</small> 雀宮工区
事業区間	<small>うつのみやしすずめのみや</small> 宇都宮市雀宮	事業延長	500m
H22年度事業化		H22年度用地着手	H23年度工事着手
事業期間	(R2) H22年度～R4年度	事業進捗状況	基準年次：【令和元年度末時点】
[うち用地補償費] 全体事業費	[10.0億円(7.5億円)] 12.0億円(9.0億円)		[うち用地補償費] 既投資事業費
進捗率		[87%] 79%	
事業概要			
<p>一般県道安塚雀宮線は、壬生町安塚地内を起点とし、宇都宮市雀宮地内を結ぶ主要な道路であり、地域住民の生活道路としても重要な役割を担っている。</p> <p>当該箇所は、朝夕の通勤・通学時間を中心に交通量が多く、雀宮中央小学校の通学路として利用されているのにも関わらず歩道がないため、児童や生徒が危険にさらされている。また、安塚街道入口交差点（国道4号との接続）には右折レーンが無いため、交通渋滞が発生しているとともに、車道は2車線あるものの、幅員狭小で、道路が屈曲しており、見通しが悪いため、事故が発生している。</p> <p>このため、安全・安心で円滑な交通を確保するため、平成22年度から自転車歩行者道の整備や交差点改良を進めている。</p>			
事業を巡る社会経済情勢の急激な変化、技術革新、事業計画の大幅な変更等			
・用地取得の状況を踏まえ、事業期間を見直すとともに、用地補償費等の精査の結果、全体事業費を見直した。			
事業の投資効果			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車利用者、歩行者の安全確保</li> <li>・渋滞緩和による交通の円滑化</li> <li>・道路屈曲部及び幅員狭小部の解消による交通事故の減少</li> </ul> <p>(※「道路事業に係わる新規事業事前評価要綱細目」より、交安事業であるためB/C算定は不要)</p>			
事業の進捗状況等			
<p>1 事業の進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業進捗79%完了（用地取得87%）</li> </ul> <p>2 今後の事業進捗の見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度に完了予定</li> </ul>			
コスト縮減等			
<p>1 コスト縮減方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東田橋において、全面架替えではなく、拡幅部のみボックスカルバート継ぎ足すこととし、コスト縮減を図る。また、鋼製高欄についても既存部材を再利用し、コスト縮減を図る。</li> <li>・側溝を無蓋化することにより蓋板補修等の維持管理コストの縮減を図る。</li> </ul> <p>2 代替案立案等の可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既に計画区間の用地を9割弱取得済みであり、代替案立案は困難である。</li> </ul>			
事業の対応方針（案）		本計画で事業を継続する。	

# 事業箇所（位置図・概要図）

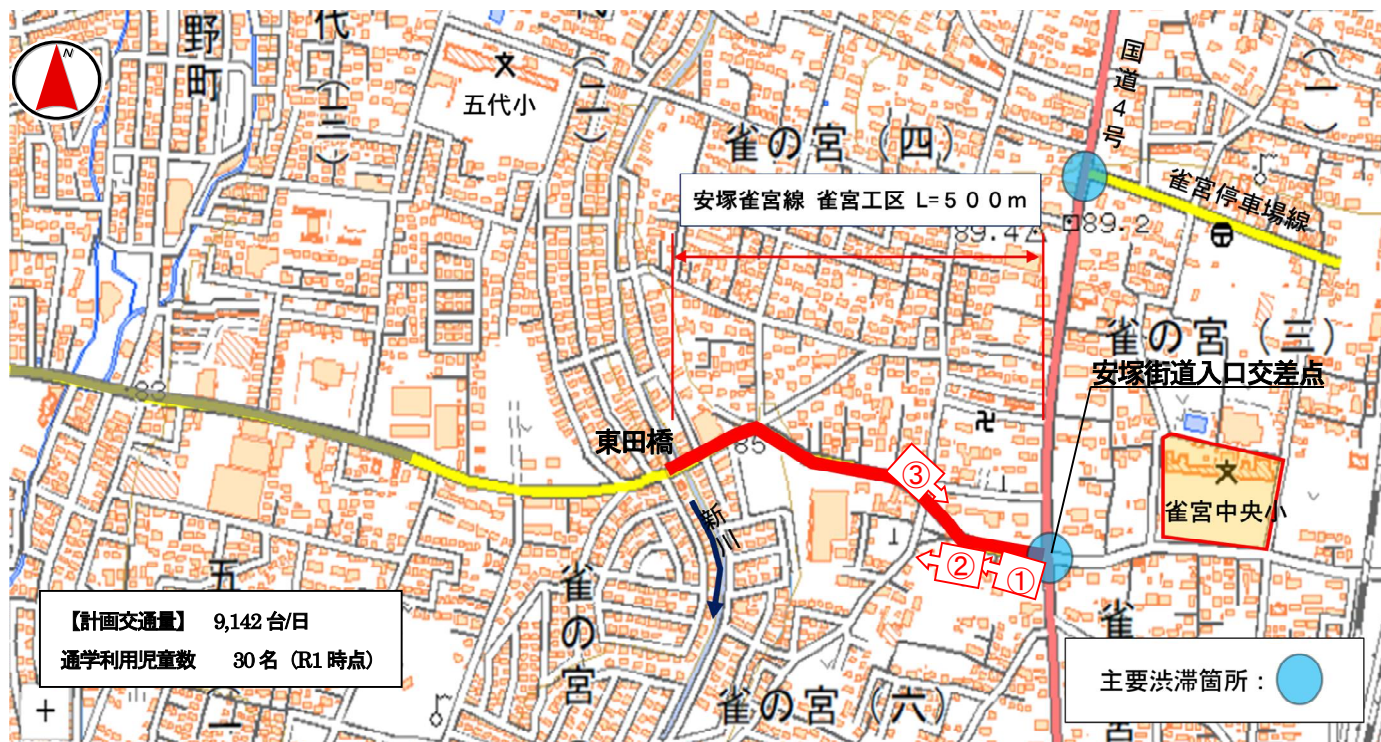
## 位置図



## 標準横断図



## 概要図





写真①：現道の状況（歩行者の状況）



写真②：現道の状況（渋滞状況）



写真③：現道の状況（線形屈曲）